
本当の笑顔

高林桜花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本当の笑顔

【Nコード】

N3168L

【作者名】

高林桜花

【あらすじ】

ロシアさんと中国さんのお話。

（前書き）

結局なにをしたかったのか・・・。
後から読んで溜息ばかり出ます。

自分は1人しかない。それは当たり前。
でも、相手には見えて自分には見えないヤツがいるらしいんだ。

「フウ・・・プリントが多いなあ。」

印刷ミスをしてしまい、他の皆より2倍もののプリントを持っていた。

カサツ・・・。

「フワアー・・・やっと終わったアル。さ、帰ろう・・・ん？これは？」

王耀が拾ったものは先程多くのプリントを持っていたイヴアンの持ち物だった。

しかも、会議にはいつも持っていないといけない大事なモノだった。

「仕方ないあるね。我が持って行ってやるか・・・。」

「ふーっ・・・。さてと、いつものプリントを・・・あれ？」

いつもの大事なプリントが無くなっていた。
帰る時ちゃんと確認をしたはずだった。

「仕方ない・・・明日は会議にけど、取りに行こうかな。」

コンコン

「はい、どちら様??」

「王耀アル」

「あ・・・どうしたの?」

「これ、大事なもののアルよ。落したりしたら大変あるよ!」

「あ、探してんだ!ありがとう。王耀君。」

王耀は少しだけ不思議に思っていた。

いつも不気味なやつだと思っていたけど、感謝の言葉を言つと素直になってかわいくなるんだなあ・・・と。

「お前は本当はいいやつアルか?」

「え?んー・・・自分では何とも言えないよ。君はどう思うの?」
「か、感謝する時はいいやつだと思ふアル。」

限定されてた・・・。自分は1人しかいないのに、こうする時は好きだとか、ああする時は嫌いだとか。普段のイヴァンは王耀から嫌われているのか・・・。

「1日・・・我と付き合つてほしいアル。」

「明日は用事あるから今日じゃダメ?もう夜だけど。」
「いいある!」

急に付き合つてほしいだなんて言われた時は驚いた。
男から。

「じゃあ、ご飯作つてあげるからそこに座っておいて。」
「・・・承知・・・。」

もう一度あの笑顔を。人を脅しているような笑顔じゃなくて、心から笑っているイヴァンの笑顔がみたい……。

ギョツ……。

「!? な、なに!？」

「もう一回笑ってほしいアル。」

「え？」

「心の底から笑うお前が見たいって言ってるアルよ!!!」

王耀は小さい体でイヴァンを床に倒した。だがすぐに逆の立場になってしまった。

「君が僕を倒すことができるなんて驚いたよーでも。力では僕の方が上みたいだね。」

「……は……恥ずかしいアル……。」

「大丈夫だって。一緒に寝る？」

「うるさいアル! 何も言うなあるよ!!!!!!!!!」

そういうとイヴァンは自分のベットに王耀を運んだ。

「我は……お前を見ている時、可哀そうだと思つ時がしばしあるアルよ……。」

「なんで？」

「お前が笑う顔なんて、あんなのただの作りあるよ!」

イヴァンは心から笑うことを知らないのか。

分かるやつには分かるように、「アイツ、本当に笑っている?」と思うやつもいるだろう。王耀にはそれが分かっていた1人だった。

「さあ！笑うアルよ！」

「もう僕……笑顔だよ？」

「何故アル？」

「君が隣にいるんだもん。それ以上の笑顔を見せるとでも言うの？」

彼にはもう何も言うことはない。幸せになればきっと笑顔が生まれるはず。

「我が役に立ってよかったアル！」

「じゃあさ、僕の本当の笑顔を知っているのはキミだけだね？」

「……そうアルね……。」

2人ともゆっくりと夢の中に行った。彼はどこかに落ちていた本当の笑顔を拾うことができた・・・。

— 次の日朝。

「……ふ、服がはだけているアル！お前、我が寝ている時に何をしたアル！」

「知らないよ。僕のもはだけていたもん。」

「!!!!!!!!!!!!!!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3168/>

本当の笑顔

2010年10月28日03時30分発行